

大阪府保育士会だより

ほほえみ

平成21年6月1日

第81号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

花みずき、藤の花が美しい春たけなわの4月23日、第50回大阪府保育士会総会が開かれ300余名の会員の皆様にお集まりいただきました。大阪府福祉部の田中ことも室長、小原課長、奥賀田総括主査様をご来賓にお迎えし、記念すべき式典を開催できましたこと感謝申し上げます。

全国保育士会倫理綱領を全員で唱和し、私たちは「子どもの育ちを支えます。保護者の子育てを支えます。保護者の子育てを支えます。保護者の子育てを支えます。」と一語一語その意味の深さ、大切さをかみしめながら読み上げていました。

折しも、大阪市内で起きた虐待事件が連日報道され、誰もが胸を痛めています。今の世の悲しいことは、子どもが事件に巻き込まれると「もしかして」と母親をまず疑ってしまうことです。幸せになりたくて一歩踏み出したはずのステップファミリーが最愛の子どもを殺めてしまう。子育て家庭の危うさに愕然としてしまいませんか。

保育園児ならば、親子に関わりながら、異常な行動に気づけたのでは。あるいは私たち保育士ならばどうしただろう。「保護者の子育てを支えます。社会を作りまします」と強く思わなければならぬ現状に身が引き締まります。



親と子の現実に身を引き締め、
保育のプロ集団であり続けたい

大西潤子 保育士会長

永野保育部会長はご挨拶の中で、地域貢献事業（スマイルサポーター）が知事認定を授与される運びとなつたこと、1000名の育児相談員のステップアップと活躍に期待しますと激励されました。

子どもたちの輝く瞳のために私たちができること、生きる喜びを感じることに、皆さんの感動を子どもたちにも届けるため共に手を携えて時代に即した保育のプロジェクトとしてあり続けたいと思います。大阪府保育士会のあるべき姿を確かめ合い、50周年の新しい未来の扉を開きましょう。

うさちゃん教室

ボランティアで親子に
楽しい空間づくり



当園では園庭開放「ともだちひろば」や児童精神科医による子育て講座、親子教室、保育園体験などの地域子育て支援事業を実施しています。

うさちゃん教室は、近隣に住む子育てが一段落した保育士や看護師、美術の講師がボランティアで月1回、家庭保育の親子に楽しい空間づくりを目指しています。次世代育成につながるような活動を行い、これからも地域ぐるみで親子を見守っていききたいと思います。

松原市 清水保育園

地域ぐるみで

ふれあひ大切

フレ！フレ！母さん 育児の応援団



当園では月に一度、地域の0歳児の親子と妊産婦を対象に育児の応援をしています。手作り玩具の紹介やおむつ交換、授乳の仕方などの指導、栄養士による離乳食の作り方やレシピの紹介も。実際に園の離乳食を試食してもらい、質問や相談を受けています。これからも子育てに「頑張るお母さん」がくつろげる取り組みをしていきたいと思っています。

吹田市 第二愛育園

子どもの輝き見出す大人でいたい

シンガーソングライター新沢としひこ氏が実技講演

21年度 保育士会総会開く



保育士総会が4月23日、クレオ大阪東ホールに302人が参加し開催され、大西潤子会長の挨拶のあと、21年度事業計画と収支予算案が承認され第一部が終了。

第2部は、シンガーソングライターの新沢としひこ氏が「かがやけそら きみのそら」と題して実技講演をされました。

飄々と舞台上に登場した新沢さんは自己紹介をするかわりに「世界中の子どもたちが」を歌いだすと、会場は歓声と大きな拍手に包まれました。みんなとひとつになっ



て楽しみたいと

最後に自身の保育士時代を振り返り、意地悪な子どもは意地悪だから面白い。乱暴な子どもは、言葉のかわりに噛んだり叩いたりするが、内側に温かいところがある。みんなデコボコしていて、いろいろな子どもがいるからクラスが面白い。人にはそれぞれ違う輝き方があって、個性を大切に、個々のひかりを見出す大人でいたいと締めくくられました。

私たち保育士も今日の講演でもらったパワーを明日の保育の原動力とし、ひとりひとりの子どもを大切に育てていきたいものです。

問われる保育力

—自己評価・個別計画・説明責任など

全国保育士研修会

全国保育士研修会が2月23、24の両日、東京の全国社会福祉協議会・灣尾ホー

ルで開催されました。

初日は全国保育士会倫理綱領を唱和したあと、御園愛子会長が「子ども家庭福祉をめぐる動向と全国保育士会の活動について」を考えを述べられ、引き続き中部学院大学教授の寺見陽子氏は「保育の個別計画」について講義されました。

また、組織的、計画的、連続的な保育を一貫性を持って行ない、個別計画では0、1、2歳児と障がい児一人一人の発達過程や状況に

「質を高める保育の個別計画について」

「質を高める保育の個別計画について」

「質を高める保育の個別計画について」

- 平成21年度 大阪府保育士会 事業計画
- 4月23日 平成21年度総会 「かがやけそら きみのそら」
 - 6月30日 中堅保育士研修会 「質を高める保育の個別計画について」 講師 大西潤子氏
 - 7月16・17日 講師 新保真紀子氏
 - 7月16・17日 近畿ブロック保育研究会 (兵庫県神戸市)
 - 7月28日 ① 7月28日 ② 7月30日
 - 8月6日 ③ 8月6日
 - 9月30日 保育士研修会 「保護者支援と保育士に
 - 10月11・13日 講師 日浦直美氏
 - 10月11・13日 全国保育研究大会
 - 11月11・13日 全国保育研究大会 (愛媛県松山市)
 - 11月18日 保育士会50周年記念講演 「子どもたちに伝えたい 美しい日本のうた」 講師 安田祥子氏
 - 2月15・16日 全国保育士研修会



堺市 石津川保育園



保育士の学びのシリーズ⑫

近大姫路大学

川原 佐公氏



今回告示された「保育所 保育指針」第一章総則の3 保育の原理の(二)「保育の方法」の才に「子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互に関わりを大切にする こと。後略」と、保育の目標を達成するための留意点として「保育の環境」を大切にすることが記されています。

「環境による保育」は平成元年の改訂の時に打ち出されたのですが、基本的な考え方は今回も代わっていません。

最近コンピテンスCompetenceという言葉を耳にしますが、ホワイト(White・R・W)が提唱した「人間が環境と効果的に交渉する能力」を指す概念で、人間は積極的に環境と関わろうとする能動性を持ち、環境と効果的に関わることで生

環境による保育

じる有能感(効力感)を追求する存在であることを示していきま

乳幼児期は、自分の生活を離れて知識や技能を一方的に教えられる、身につけていく時期ではなく、今おかれ

活のなか

で自分の発達過程による興味や欲求に基づいて環境に関わり直接的に、具体的な体験を通して、生きる力



です。環境による保育は、子どもの自由な主体的な生活

子どもがどうであれ、自分はこの

に基づいて行動を選択した

り、判断してものごとを決

定したり、人を頼りにしない

い独立心、自律心から生ず

るもので、人との関わり

なかで意味を持つてくるも

のです。そして子どもが、

興味・関心を持って能動的、

意欲的に環境に関わって自

ら創造していくものが活動

だという考えが重要です。

光の峰子育てプラザは平成14年度に「チャイルドスクール」(未就園児と保護者)1クラスからスタートしました。当初は1クラス

を2人の保育士で担当、月1回1年間のスクールでした。

それが今年度から「あかちゃんらんど」「ミニチャイルド」「チャイルドスクール」「プレキンダー」「キッズパーク&ブツクタイム」「ちびっこひろば」「ばばっこたいむ」7種類のクラスへと発展しました。

枚方市では、すべての保育所が取り組んでいる支援事業の一環として「ふれあい体験」も始まりました。どのクラスも

ブルあそびはもちろん、七夕の製作、お正月あそびなど家庭ではあまりしなくなった遊びは好評です。

栄養士による離乳食や節単おやつ作り方、食べ物アドバイス、看護師による健康相談や感染症への対処法など

保育士にアドバイスを求めたり。自分だけが悩んでいるのではないことに気づき、気持ちも明るくもって前向きに考え始める姿を目にします。

子育て支援シリーズ

栄養士の食育アドバイス

看護師による健康・感染症相談も



ど関心の強い内容盛り込んで

されている姿を大切にしたいと思っています。

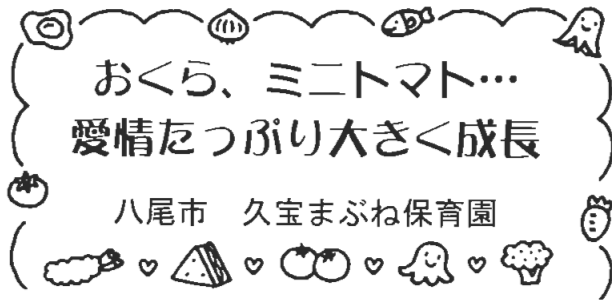
枚方市 光の峰保育園



保育のあんな工夫

こんな工夫

野菜づくりで学ぶ 食育の大切さ



八尾市 久宝まぶね保育園

プランターを利用して、年長児がおくらやミニトマト・きゅうりなどの野菜づくりを始めました。夏の陽射しをいっぱい受け、子どもたちの愛情もたっぷり浴びて、おくらなど大きく成長、毎日の収穫に大喜びでした。



物、和え物に調理してもらい、給食時にクラスみんなで食べるようにしました。スーパリーの陳列野菜しか知らない子どもたちには、おくらやきゅうり、トマトがみるみる成長していくのを見て、毎日が新鮮な驚きと発見の連続でした。家で食事の準備をするお母さん方の調理中の野菜のくずが大きい過ぎると、野菜づくりを体験した子どもたちは「もったいないからそんなに捨てないで。農家のおじさんが汗をいっぱい流して大事に育てた野菜なんだから」と言うようになって

たようです。

食前の「いただきます」は、自分たちの命をつなぐために野菜・果物・魚・肉などの命を頂くとこの意味も含まれています。子どもたちにもそのことが少しずつ理解できてきたよううれしく思います。



楽しい保育活動

あこがれの「お泊り保育」

温泉 きもだめし... 盛りだくさん

堺市 北野田保育園

は、年長クラスで行っている「お泊り保育」です。子どもたちが主となり、買い物に行きクッキング、園庭でキャンプファイヤ、花火大会を楽しんだ後、北野田保育園温泉で汗を流し、き

北野田保育園は堺市の東部に位置し、定員200名の保育園です。広い園庭と遊具に囲まれた芝生広場があり、子どもたちが三輪車や自転車に乗り、おにごっこ、かけっこなど思いっきり体を動かす遊びを楽しんでいます。芝生では虫採りや草花を摘み、四季折々の自然に触れて子どもたちの元気な笑い声が響いています。行事の中で子どもたちが憧れているのは、年長クラスで行っている「お泊り保育」です。

編集後記

新学期も始まりはや1か月、大型連休も慌ただしく過ぎ子どもたちも少し落ち着きはじめてきた頃でしょう。この春は夏目があったり、北の方では雪が降ったり天候の定まらない日が多かったように思われます。昨年度、保育所保育指針が告示化され今年度から実践されることになりました。基本理念の見直し、保育課程作成、年間保育計画、保育要録準備など、進めて来られたことと思いま

もだめしに挑戦!!。2日目は、各クラスの子どもたちや職員と触れ合いゲームをし、保育園がひとつになつてお泊り保育を盛り上げます。色々な経験を通してたくさんの人と関わり、心も体も大きく成長、子どもたちの忘れられない思い出のひとつとなっています。

当園を巣立って行った子どもたちが、笑顔で保育園に帰って来てくれることを楽しみに日々保育の工夫に努めて行きたいと思えます。

